

2012年7月15日発行

日本共産党大田区議会議員・区政報告

こんにちは

金子悦子です



日本共産党大田区議団

金子悦子事務所

西六郷2-16-2

TEL 5711-0350

FAX 5711-0376

大田区役所内控室

5744-1477

## 大田区議会は電気料金の値上げについて意見書を採択しました

4月から、東電の自由料金（大口需要家）値上げが大問題になりましたが、それに続き7月1日から一般家庭の電気をお使いの方へ、「電気料金の値上げをお願いいたします」とわざわざ申請中の印鑑を押した文書が検針票とともに入ってきました。平均10.28%の大幅値上げとなっています。「火力発電の燃料等の大幅増加により、この度やむを得ず、電気料金の値上げをお願いさせていただくことといたしました」と書いてありますが、到底納得できるものではありません。さすがに、原発を再稼働させないと、もっと料金は上がるとは書いてありませんが、原発事故についての東電としての反省がなにもありません。徹底した経営合理化には取り組むといいますが、いままでの電気料金は、国民には分からないブラックボックスの中で、原発建設や過酷事故の対策基金も料金に含まれていたなど、納得できないことがいろいろあります。原発再稼働は許さない、電気料金の値上げは許さない世論を大きくしていくことが大切です。

大田区議会は、6月15日の第2回定例会最終日に「東京電力の電気料金値上げ見直しに関する意見書」を採択し、衆参両院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣あてに提出しました。この意見書には民主党が提案者に加わらず、採決時に4人が退席しました。

## 子ども・子育て新システムは今

現在、政府がすすめようとしている「子ども・子育て新システム」は、重大な問題があります。児童福祉法にもとづく現行保育制度には、子どもの最善の利益を守るために、市町村の保育実施義務が明確に位置づけられています。また、国が定めた最低基準により、全国どの地域においても等しく保育の質が保障されています。

しかし、新システムでは、第1に児童福祉法24条にもとづく保育の実施義務がなくなり、市町村は保育が必要かどうかを認定するだけになります。市町村は保育所入所に責任をもたず、保護者は保育所を自力で探し、直接契約をしなければなりません。

第2に国の定める最低基準がなくなり、保育の地域格

## 発達障害ってなに？

最近よく見聞きする「発達障害」の学習会です。お気軽においでください。専門家にお話いただきます。

日時 7月19日(木) 午後7時～

会場 区民ホールアブリコ 小ホール

講師 渡部明子先生

(臨床心理士、言語聴覚士)

参加費 無料

主催 日本共産党大田区議団

差がいつそう広がるだけでなく、子どもの命、安全が危険にさらされます。さらに、規制緩和により子どもを儲けの対象にするような事業者の参入に歯止めがかけられなくなります。

子どもの貧困や子育て困難が広がっている状況をふまれば、新システムの導入ではなく国と自治体の責任を確保しながら、保育所・幼稚園、学童保育、子育て支援の制度を拡充すべきです。

「子ども・子育て新システム」の導入に対して、地方議会から意見書が続々とあがっています。「新システム」を批判し、現行の公的保育制度の拡充を求める意見書は今年3月以降20府県にのぼります。そのうち19府県が反対や撤回、現行の公的制度の維持を求めています。

税と社会保障の一体改革法案で、消費税増税と一緒に衆議院を通過していますが、衆議院の質疑の中でも大きな問題が指摘されています。日本共産党大田区議団は、政府が新システム案を撤回し、国と自治体が責任を負う現行保育制度を拡充することを強く求めるものです。

## 金子悦子事務所の法律相談

8月16日(木) 午後2時～4時まで

西六郷2-16-2

東京南部法律事務所 小林弁護士

予約制です。事前にお電話ください。

03-5711-0350



写真提供：大田区産業経済部

## 大田の工匠100人を表彰

平成23年度は27人が決まりました。六郷地域からは6人です。今回で4回目、合計95人になりました。

区内の製造業を営む中小企業において、優秀な技能と他の模範となる技能者を「大田の工匠100人」として表彰し、その技能の継承、後継者の育成に資することを目的としています。

表彰に当たっては、区内製造業のうち従業員数が3人以下の事業所に従事する方の中から、技術・技能の実践性、卓越性、職人としての模範性などが審査されます。

6月15日に産業プラザ「大田区加工技術展示商談会」の会場内で表彰式が行われました。大田の工匠100人に選ばれますと、工業フェアなどの時ブースが無料で借りられます。金子議員は、目的にかなない、後継者の育成に資するように、区も積極的に支援するよう、地域産業委員会でも要望しておきました。

## 高畑小学校前のバス停に 椅子を置いて！

「高畑小学校前のバス停には椅子がありません。1個か2個でも助かります」というお話を高齢の女性から聞きました。

早速、東急バスの施設課に可能かどうか検討してもらいたい旨申し入れました。日常生活の中で、こんな不便があるということがあれば、気軽にお知らせください。

## 私、骨を折りました 金子悦子

私は、1月24日の早朝、雪の降ったあくる日に歩いて骨折しました。すると滑るように転んで、両踝（くるぶし）を骨折し足関節を脱臼したのです。そうすると、もう歩けません。

救急車で、蓮沼駅近くの病院に運ばれ入院することになりました。27日に手術し、2月15日には装具を付けて歩けるようになり、18日に退院しました。4月8日にはその装具もはずれました。震災後の日常生活がいかに大事か、普通のことがどれだけ大事かといわれていますが、歩ける、登れる、走れるなどありがたいことです。

ところで、歩いていて足に障害のある人が多いことに気づきます。腰痛や妊娠中の女性も障害者とする国がありますが、日本の障害者の定義は大変狭く、その狭い範囲で年金が支払われますから、なかなか困難です。

大田区仲六郷にお住まいのIさんは、15歳の時、1945年8月7日に愛知県豊川市の海軍工場に見習いで働いて、B29の爆撃を受け、頭部と下肢に重傷を負いました。平成の時代になって、てんかん発作が起きて、この8月7日の受傷が原因ではないかとなりましたが、病院の診断書やレントゲンフィルム、本人の申し立てでは障害年金は認定されません。書類だけで判定するのは不十分です。せめて本人から事情を聞いてほしいと思います。新しい証拠がでてくれば、といいますが、それは67年前のことですからなかなか困難です。本人から事情聴取を！ とがんばっています。